

「播磨町フォー！」いただきました



▲「できることはなんでもさせていただきます」と意気込みを聞かせてくれました

播磨町ふるさとPR大使を  
レイザーラモンHGさんに委嘱  
しました

レイザーラモンHGさん（本名 住谷正樹さん 吉本興業株式会社所属）は、播磨町出身のお笑い芸人です。蓮池小学校、播磨中学校、加古川高等学校、同志社大学を卒業し、いったんは就職しますが、レイザーラモンHGさんとのコンビで大人気の芸人さんとなりました。一方で、素晴らしい絵を数多く描いていることでも有名です。現在は、東京在住ですがご実家は播磨町にあります。

7月12日に開かれた委嘱式のあと、会見の中で思いに残っている場所を尋ねられると、「蓮池小学校の運動場に行ってみたのですが、小高い丘の中にトンネルがあったり、ボールを当てる壁が残っていたり、変わってないですね。懐かしいと思うと同時に、自分の子どもたちとそこで遊んで、すごく幸せだなあとという気分になります」と優しい笑顔で答えてくれました。

播磨町ふるさとPR大使は、播磨町にゆかりがあり、町内外で活躍するとともに、多くの人から親しまれている方に、播磨町が持つ歴史、文化、産業等の誇れる特性を広く効果的にPRしていただくことを目的に委嘱しています。レイザーラモンHGさんは、平成31年に委嘱した岡部祐希さん（民謡歌手）に続いて2人目です。

今後、播磨町のイベントへの出演や、さまざまな機会をとらえて広く播磨町のことをPRしていただけるようお願いをいたしました。

その第1弾として令和5年11月に開催する大中遺跡まつりに出演予定です。乞うご期待。

第2回社会教育推進委員会



ひょうごパラスポーツ指導者協議会

7月13日、中央公民館で、自治会から選出されている「社会教育推進委員」約50人が「ボッチャ」を体験しました。講師の「ひょうごパラスポーツ指導者協議会東播磨地域委員会」の方々から、ボッチャの歴史や、道具を手作りできることを教わり、「世代関係なく楽しむことが出来るのが、パラスポーツの良いところです。是非、体験後もパラスポーツを楽しんでください」と教授いただきました。

参加者からは「ルールが簡単で分かりやすかった」「年齢・性別関係なく一緒に楽しめた」と、パラスポーツへの興味・関心の高まりがうかがえました。

問 協働推進課住民協働係  
☎079-435-2364

ボッチャの体験会をしました

乳幼児向けのおもちゃを寄贈いただきました



高月和義さん（大阪ガス株式会社姫路地区統括支配人）と佐伯町長



ダイガス  
DaiGasグループ小さな灯運動様  
からおもちゃの寄贈がありました

大阪ガス株式会社DaiGasグループ小さな灯運動様から、様々な社会貢献活動の一環として集めた募金で、南部子育て支援センターに玩具を寄贈いただきました。

感謝の意を表し、町から感謝状を贈呈しました。

問 ことも課 ☎079-435-0366

町内の約400人がクリーンキャンペーンに取り組みました



北池、大池で  
クリーンキャンペーン

北池では、ため池を通して地域コミュニティづくりを推進している「かがやきの北池コミュニティ」のメンバーを中心に、周辺自治会住民が参加。ごみ拾いや草刈り、花壇の整備に汗を流しました。また、災害時に使用する緊急時浄水装置の実演も実施しました。

大池では、クリーンキャンペーンに合わせて、子どもたちに、ため池の環境や安全について学んでもらう大池を探検するツアーが開かれました。「新井大池ため池協議会」が企画し、ため池クイズや水質調査等、自然を満喫しながら、池の周囲をゴミ拾いしながら「探検」しました。

問 産業環境課産業経済係  
☎079-435-0304

喜瀬川、水田川でもクリーンキャンペーン



播磨町自治会連合会  
喜瀬川等一斉清掃  
（クリーンキャンペーン）を開催

播磨町自治会連合会は平成13年に「喜瀬川美化に関する決議」を採択し、毎年7月第一日曜日に喜瀬川等一斉清掃（クリーンキャンペーン）を行っています。当初は喜瀬川に隣接する8自治会が中心でしたが、現在は水田川、北池、大池、妹池でも清掃活動が実施されるようになりました。

今年は7月2日に行われ、朝早くから多くの自治会の皆さんが喜瀬川、水田川に集まり、河川美化にご尽力いただきました。

問 協働推進課住民協働係  
☎079-435-2364



長年の功勞により、播磨保育園園長が瑞宝章を受章

瑞宝双光章  
高島 経子さんが受章しました

瑞宝章は、公共的な業務に長年にわたり従事して功勞を積み重ね、功績をあげた人に授与されます。  
播磨保育園の園長高島さんは、社会福祉施設の長として長年従事され、その教育と保育の功勞に対し受章されました。  
これからの播磨町とともに、子どもたちを支えてください！



▲多くの子どもたちがお世話になっています

面！胴！小手！（突きは禁止!!）播磨町少年剣道クラブが全国大会へ！

播磨町少年剣道クラブが  
全国大会に出場しました

第57回全国道場少年剣道大会小学生団体戦及び中学生団体戦が日本武道館（東京）で開催されました。  
その大会に出場する小学生の選手達が、大会前に町長及び教育長を表敬訪問しました。  
選手達は、各々大会に向けての意気込みを語り、大会前から対戦相手を圧倒するよう強い思いが伝わりました。  
町長から「播磨町から全国大会に選手が出場する選手がいるのはとても嬉しい。暑い中、大変だとは思いますが、悔いのないように試合に挑んでください」と激励がありました。



▲日々、練習に励んでいます

早起きしてがんばりました

今年も「夏休みラジオ体操」を実施しました

7月24日～8月25日の夏休みの朝8時から、公民館で毎年恒例になったラジオ体操をしました。

毎日の暑さにも負けず、子どもたちはお父さん・お母さん・お友達と一緒に、元氣いっぱいがんばりました。

☎ 中央公民館  
079-437-6980



まやんぼすだより

播磨南小学校5年生



田植えをしました

播磨南小学校5年生は、6月9日に田植えを行いました。大池の横にある農家の岡本章男さんの田んぼです。まず、岡本さんからお米について教えていただきました。  
「米」という字は「八、十、八」という文字からつくられていて、「お米ができてくるまでは88回もの手間がかかる」という意味だそうです。お米が出来るまでには田植えや草刈り、害虫の

駆除など多くの手間がかかります。いつも当たり前に食べているお米ですが、感謝して食べなければならぬことに気がつきました。  
いざ、田植えに挑戦。農家の方、地域の方、JAのみなさんに見守られ、教えていただきながら、田植えに挑戦しました。  
最初は、田んぼの中に入るのをためらっていた子どもたちでしたが、入ったらとても楽しい！初めての挑戦でしたが、とても上手に苗を植えることができました。田んぼから出た後は、ドロドロになりましたが、子どもたちはみんな笑顔で、充実した様子でした。お米が立派に育って、秋に収穫できるのが楽しみです。



▲まずは説明を聞きます



▲田植えに挑戦

対話を積み重ねた計画づくり

まちづくりアドバイザーがお届けする  
まちアド通信  
☎ 079-435-2364  
協働推進課住民協働係

従来、行政の計画策定は町民、行政、有識者などで構成する検討委員会が開催され、その場で様々な意見を出しながら検討を進めてきました。しかし、その会議は、かしまった雰囲気、意見の言いやすい場ではない場合もあります。最近では、この計画検討の場も対話ができるように工夫が進んでいます。例えば、先日開催された、播磨町健康増進計画の検討委員会では、複数のテーブルに分かれて意見交換を進めました。その中から計画のキーワードを見つけていきました。「歯の健康維持・噛むこと」や「情報をキャッチすること」「つながりづくり」のような



▲計画検討委員会の様子

言葉が出てきました。これまでの会議では、事務局から出された資料に意見することがほとんどでしたが、話し合いの方法を変えることで、会議の参加者からより多くの意見が出るようになり、よりよい計画になっていきます。会議の進め方や対話の場は地域だけでなく行政の中でも変わっていくつあります。

行政では、〇〇推進計画といった、これから進める取組や方針をまとめた計画をつくっています。例えば、長期総合計画などがこれにあたります。協働のまちづくり宣言発出以降、行政が開く計画検討の場も対話の場に変化しつつあります。

【まちづくりアドバイザーとは】 播磨町では、多様化・複雑化する地域の課題やニーズに、より細かく対応するため、2020年度より「まちづくりアドバイザー」を配置しています。自治会活動やコミュニティ活動、自主的なまちづくり活動について専門的な視点から支援します。